

萩市企業景況調査

D I 方式

令和2年 10月～12月期 実績
令和3年 1月～3月期 予測

《調査機関》
萩商工会議所

D I (ディフュージョン・インデックス) 方式とは？
D I は各調査項目について判断の状況を示す。ゼロを基準として、プラスの値は景気の上向き傾向（「良い」）の回答割合が多いことを示し、マイナスの値は景気の下向き傾向（「悪い」）の回答割合が多いことを示す。
◎ D I = (増加・好転など「良い」の回答割合) - (減少・悪化など「悪い」の回答割合)
※設備投資は割合(%)

新型コロナウイルス感染症の影響が長期化の懸念。

景況の概要

令和3年1月実施の景況調査の集計結果は以下のとおり（調査対象企業：萩市内60社、回収率90%）。

生産・売上 前期比は製造業と観光関連業が増加、建設業とサービス業が横ばい、それ以外は減少となった（平均13.0%）。前年同期比では観光関連業は増加、それ以外の業種で減少となった（平均▲14.8%）。今後（1～3月期）の見通しにおいては、建設業は横ばい、それ以外の全ての業種で悪化すると予測（平均▲55.6%）。

収益 前期比は、製造業と観光関連業が増加、小売業が横ばい、それ以外の業種で減少となった（平均3.7%）。前年同期比においては、観光関連業が増加、それ以外の業種で減少となった（平均▲18.5%）。今後（1～3月期）の見通しにおいては、すべての業種で減少と予測（平均▲55.6%）。

資金繰り 前期比は、建設業が横ばい、それ以外の業種は悪化（平均▲13.0%）。今後の見通しでは、建設業以外のすべての業種で悪化と予測（平均▲27.8%）。

従業員数 建設業、小売業で充足、製造業とサービス業で適正数、観光関連業で不足感があるという結果になった（平均13.0%）。

経営上の問題点 ①需要の停滞 51.9%②人材の確保難 23.1%③新型コロナウイルス感染症の影響による売上減少等 9.6%の順となった

今後の業界動向 各業界の景気見通しは、すべての業種で停滞と予測（平均▲70.4%）。特に観光関連業では▲100.0%と停滞指数が大きい。

景況に関する生の声 ■売上が上昇してきたが、12月中旬以降コロナの影響が出ている（コロナの収束次第）（海産物加工）。■コロナの影響が直撃。卸先が飲食のため（食肉卸）。■コロナの影響で売上の大幅減。営業のコンタクトが困難（事務用品卸）。

項目 / 業種		建設業	製造業	卸売業	小売業	サービス業	観光関連業	平均	前年平均	前々年平均
生産・売上	前期比	0.0	50.0	▲10.0	▲14.3	0.0	40.0	13.0	▲5.4	28.1
	前年同期比	▲30.0	▲10.0	▲20.0	▲42.9	▲28.6	30.0	▲14.8	▲53.6	▲22.8
	3年1月～3月期見通し	0.0	▲50.0	▲90.0	▲71.4	▲28.6	▲90.0	▲55.6	▲28.6	▲40.4
収益	前期比	▲10.0	30.0	▲40.0	0.0	▲14.3	50.0	3.7	▲17.9	17.5
	前年同期比	▲50.0	▲10.0	▲30.0	▲14.3	▲28.6	20.0	▲18.5	▲55.4	▲19.3
	3年1月～3月期見通し	▲20.0	▲30.0	▲80.0	▲71.4	▲42.9	▲90.0	▲55.6	▲32.7	▲38.6
資金繰り	前期比	0.0	▲20.0	▲10.0	▲14.3	▲14.3	▲20.0	▲13.0	▲12.7	▲12.5
	3年1月～3月期見通し	0.0	▲20.0	▲30.0	▲28.6	▲28.6	▲60.0	▲27.8	▲21.8	▲21.4
従業員数	2年12月末	40.0	0.0	10.0	42.9	0.0	▲10.0	13.0	28.6	38.6
設備投資	(実績)	10.0	30.0	20.0	14.3	42.9	0.0	18.5	23.2	24.6
	(計画)	20.0	40.0	20.0	28.6	28.6	30.0	27.8	14.5	32.1
業界動向		▲50.0	▲40.0	▲70.0	▲85.7	▲85.7	▲100.0	▲70.4	▲50.0	▲47.4